

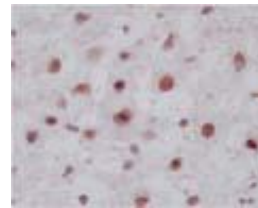
Anti human FXR mouse monoclonal antibody

FXR: Farnesoid X Receptor

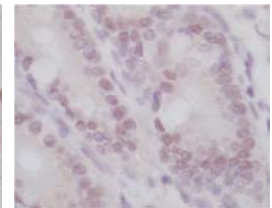
製品コード	PP-A9033A-00 旧コード Z2A9033AH
Clone No.	A9033A
Lot.	A-2
濃度	1mg/mL
容量	100μL
Ig class	G2a
Nomenclature	NR1H4
Genbank	U68233
由来	ヒト FXR (2-126 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト FXR と特異的に反応する。マウスおよびラット FXR と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN ₃ 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 1 μg/mL
非還元 Western Blot	未検討 参考使用濃度 -
ELISA	可 参考使用濃度 0.2 μg/mL
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
Supershift Assay	未検討 参考使用濃度 -
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
免疫染色	可 参考使用濃度 20-40 μg/mL



ラット
肝細胞
凍結切片



ラット
小腸
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Suh JM, *et al.* Mol Endocrinol. 2006; 20(12): 3412-20
Qin J, *et al.* Dev Dyn. 2007; 236(3): 810-20
Higashiyama H, *et al.* Acta Histochem. 2008; 110(1): 86-93
Gineste R, *et al.* Mol Endocrinol. 2008; 22(11):2433-47

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Jun 23, 2010